

令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	大東商工会議所	
	代表者職・氏名	会頭 浅野 弘資	
	所在地	〒574-0076 大東市曙町3番26号	
	担当者	職・氏名	事務局長 中濱 修
		連絡先	TEL（直通）： 072-871-6511
			Fax： 072-871-0330
E-mail： nakahama@daito-cci.or.jp			
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		平成11年4月1日 12名（経営指導員10名）（令和4年3月31日現在） 大東市 4,606事業所（平成28年経済センサス活動調査による） 3,261事業所（平成28年経済センサス活動調査による） 1,699事業所（36.9%）（令和4年3月31日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し又は建議すること。 ②行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 ⑤商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。 ⑥輸出品の原産地証明を行うこと。 ⑦商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑧商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 ⑨商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 ⑩博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 ⑪商事取引に関する仲介又は斡旋を行うこと。 ⑫商事取引の紛争に関する斡旋、調停又は仲裁を行うこと。 ⑬商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ⑭商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。 ⑮社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑯行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑰国際親善の増進を図ること。 ⑱前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

(1) 事業の目標

地域の小規模事業者等が抱える経営上の問題点を把握・解決するため、巡回及び窓口相談を通して潜在的なニーズの収集、事業所に応じた適切かつ効果的なアドバイスと具体的な支援を行うことにより活力にあふれた地域経済を構築することを目標とする。

経営相談支援事業においては、コロナ禍で事業者が抱える課題について「課題の抽出・把握・提案・支援」と伴走型で支援を行い、問題解決のみならず中長期的な企業育成を目標とする。

専門相談支援事業においては、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため、各種専門家と連携し、あらゆる経営課題に対して迅速に対応解決することを目標とする。

地域活性化事業においては、小規模事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーを実施すると共に府連携及び広域連携、独自提案事業を行うことにより、販路開拓・マッチング・生産性向上・事業承継など小規模事業者の持続的発展へ向けた事業展開を目標とする。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

令和3年度も感染症の影響により、経営相談支援事業として以前のような活発な巡回ができなかった反面、引き続き「新型コロナウイルス感染症に関する経営相談窓口」を設け、国・府・市等が感染症対策で打ち出した経済支援施策の普及に尽力した他、金融相談や販路開拓相談をはじめとする多角的な経営相談に対し、事業者と伴走する形で支援を行った。

専門相談支援事業については、事業計画策定の他、コロナ禍における労務対策、経営戦略やマーケティング力向上等専門的かつ高度な問題解決に対し、専門家を活用した支援を積極的に推進した。

地域活性化事業については、コロナ禍で感染拡大を避けるため一部のセミナーを縮小開催としたが、**BCP**策定支援セミナーの他、事業承継、求人求職マッチング事業（「**WEB**」合同企業説明会）、**SDGs** マッチング事業等を開催した。また、販路拡大を求めている事業所には、広域で実施された総合展示商談会への参加を推奨することで、各社のビジネスチャンス拡大を図った。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業については、コロナ禍の影響を受けた事業者を中心にヒアリングを行ない、マル経融資や販路開拓支援など、小規模事業者等が抱える経営課題の発掘と相談内容に応じたアドバイスを実施し、課題解決へ導くことができた。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策で打ち出された各種経済支援施策活用へのニーズが高く、多数の窓口相談に対応した。

専門相談支援事業については、コロナ禍での事業計画策定や労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、多くの課題解決へとつなげることができた。

地域活性化事業については、**BCP**策定支援セミナーにて感染症対策や地域リスク等の情報提供を行い大阪府が提供する簡易版**BCP**様式による**BCP**作成を促進した。また、商工業支援施策セミナーでは、感染症対策として打ち出された各種経済支援施策を周知することで、その後の多様な伴走型支援につなげることができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

コロナ禍の影響が長引いたことで令和3年度も一定の相談実績を得たが、小規模事業者間でも加速度的に普及した**IT**化への対応に関する相談が軽微なものを中心に増加した。

一方、小規模事業者の経営を下支えすることが求められる経営指導員間でも、**IT**スキルにはばらつきが目立つことが課題で、今後円滑な経営相談には経営指導員の**IT**スキル向上が必要だと考える。

また、感染拡大防止を図るため、巡回相談や大勢の人が集まる地域活性化事業を従来と同じ頻度・方法では開催できなかったが、今後はオンライン等の活用機会を増やし、幅広い個社支援や地域活性化に貢献することが求められる。

(5) 次年度の取り組み

コロナ禍の影響を見据えながら各種経済支援施策の普及に努めつつ、経営相談支援事業については、マル経融資推薦業務や事業計画作成支援を中心に、小規模事業者が抱える課題把握を行い最適な解決策を提示できるよう注力する。

専門相談支援事業については、各種専門家と連携することで、コロナ禍における専門的かつ高度な相談に対し、迅速な課題解決を図っていく。

地域活性化事業については、感染防止対策に工夫を凝らし、従来の**BCP**策定や事業承継セミナーに加え、人材採用事業や**SDGs** マッチング事業等を実施することで地域の活性化に寄与したい。

また、上記を推進する為、**IT**スキルなど経営指導員の資質向上を図り、支援ノウハウの共有化・高度化へ向けた取り組みを展開していく。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 大東商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和3年度も「新型コロナウイルス感染症に関する経営相談窓口」を設置し、相談者のニーズに的確に対応した結果、目標を**15%**上回る**311**件の事業所カルテ実績につながった。
 コロナ禍の影響を受けた数多くの事業者へのヒアリングを行い、浮かび上がった経営諸課題に対して課題解決および経営力向上に向けてのサービス提案に取り組むとともに、国・府・市等が感染症対策で打ち出した各種経済支援施策の普及に尽力した。
 特に、小規模事業者の持続化を支援する事業計画作成支援、労働者の雇用維持を支援する労務支援、中小企業内部で**SDGs**を具体的に推進していくための人材育成計画作成支援等を精力的に実施した。

【代表事例】

K氏はハンドメイド作家として令和2年に開業。主に女性向けアクセサリーの製造販売を行っているが、コロナ禍で売上が減少したとの相談で来所。新規取引先の開拓や感染防止に向けた事業計画の立案支援を行った。
 具体的には、**K**氏が営む業界の市場動向から自社の強みや課題等について確認作業を行い、店舗内の感染防止対策に加え、自社のタイミングで更新ができる独自のECサイトを構築することやメインターゲットとする**20**代女性が目にする多くの**SNS**へ広告を出すことなど事業計画の明確化に寄与した。
 結果、売上増加の糸口が見えなかった**K**氏のアクセサリー製造販売業の持続的発展につなげることができた。今後も必要に応じ金融や各種支援施策活用面で伴走型支援を行っていく。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	270	311	115.2%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	15	18	120.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	15	9	60.0%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	70	35	50.0%	3
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	4	1	25.0%	2
資金繰り計画作成支援	事業所	30	4	13.3%	2
記帳支援	事業所	30	48	160.0%	5
労務支援	支援数	35	56	160.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	3	19	633.3%	5
マーケティング力向上支援	事業所	5	2	40.0%	3
販路開拓支援	支援数	30	28	93.3%	4
事業計画作成支援	支援数	40	44	110.0%	5
創業支援	事業所	3	4	133.3%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	1	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
財務分析支援	事業所	30	61	203.3%	5
5S支援	事業所	2	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	3	3	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業承継支援	事業所	5	0	0.0%	1
災害時対応支援	事業所	0	0		-
フォローアップ支援	事業所	80	0	0.0%	1
結果報告	事業所	269	310	115.2%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者を幅広く支援するため、国・府・市等が感染症対策で打ち出した各種経済支援施策の普及に努めた。
 税務支援においては、近畿税理士会の支援の下、当所会館内に所得税及び消費税の相談会場を設け、個人事業者が自主申告できるように税務支援を行った。金融支援においては、民間金融機関との取引が希薄な小規模事業者に対して、資金繰り改善につながる金融支援を行った。また、事業所が抱える経営諸課題の中でも、高度かつ専門的な課題に迅速に対応するため、専門家との連携を図り、迅速かつ有益な課題解決へ導くことを意識した専門家連携支援を展開した。
 今後も専門家との連携を一層強化することで、ワンストップ機能を発揮し、迅速かつ有効な課題解決へ向けた支援を行っていく。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	支援企業数	38	32	84.2%	4
金融支援	継続	支援企業数	12	2	16.7%	2
専門家連携	継続	支援企業数	12	23	191.7%	5

4. 地域活性化事業

大東商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>地域活性化事業については、これまでのセミナー開催時や経営相談時に小規模事業所から要望があった事業を企画し、参加事業所にメリットを感じてもらえる視点を重要視した。対象についても、業種や規模も意識しながら各事業ごとに一定のターゲットを設け、事業のPRや参加勧奨を図った。</p> <p>令和3年度も感染症の影響により一部の地域活性化事業を規模を縮小し開催せざるを得なかったが、管内中小・小規模事業者の多くで経営課題となっている「人材確保支援」「人材育成支援」「販路開拓支援」といったテーマを中心に事業を推進した。特に「産大求人就職マッチング事業」「中小企業における高校生採用支援事業」「ものづくり教育道場」といった人材確保・人材育成支援事業を、行政・教育機関・当所による三者の協力体制により推進。また、販路開拓支援の一環として「商工業支援施策セミナー」を行い、そこで得た情報を元に販路開拓支援等伴走型支援へつなげた。</p> <p>一例として「中小企業における高校生採用支援事業」では、製造業を営む管内中小・小規模事業者と工科高等学校生との橋渡しを行った結果、「この度の機会を通じ、改めて雇用PRを強化したいと感じた」「学生と交流させていただくことにより、若手社員のプレゼンテーション力の向上や後輩育成力の向上、モチベーション高揚にもつながった」などの感想をいただいた。また、こうした声を経営相談支援事業につなげることにより、課題に対応した支援を提案できたといった相乗効果も得られた。</p> <p>コロナ禍の収束時期がみえない中ではあるが、開催方法等で一層の工夫を凝らし、引き続き地域活性化事業も積極的に推進していく。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	中小企業人材採用セミナー	15	13	83.3%	83.3%	人材採用スキルが向上した事業所割合	70%	100.0%	142.9%	5
○	BCP策定支援事業	15	14	93.3%	100.0%	簡易版BCPシートを作成した事業所数	15	10	66.7%	5
○	中小企業の社長と若年求職者の交流事業	4	4	100.0%	100.0%	自社の魅力発信意欲、採用意欲が増した事業所割合	70%	75.0%	107.1%	5
	産大求人就職マッチング事業	16	14	87.5%	25.0%	自社PRに繋がった事業所割合	70%	50.0%	71.4%	4
	商工業支援施策セミナー	30	21	70.0%	100.0%	公的支援制度が理解でき、経営力強化に取り組む意識が高まった事業所割合	80%	71.0%	88.8%	4
○	DXに関するセミナー	15	26	173.3%	80.8%	ITを利用しての生産性向上に関する意欲が高まった事業所割合	70%	38.0%	54.3%	5
○	事業承継セミナー	15	8	50.0%	71.4%	アンケートにおいて事業承継の準備の必要性について意識が高まったと回答した割合	70%	63.0%	90.0%	4
	ビジネス講演会	100	51	51.0%	88.2%	今後の経営改善のために役立つ事業所割合	70%	49.0%	70.0%	3
	ものづくり教育道場	10	6	60.0%	100.0%	業務へ実践できると回答の事業所割合	80%	100.0%	125.0%	4
○	SDGsマッチング事業	25	16	64.0%	68.8%	SDGsから検討した社会課題のビジネス化を検討したいと回答した割合	70%	50.0%	71.4%	3
	大東まちゼミ	50	35	70.0%	80.0%	来店客数が増加した参加事業者の割合	80%	89.0%	111.3%	5
○	クラウドファンディング活用セミナー	15	9	56.7%	100.0%	クラウドファンディング導入を検討する事業所割合	70%	44.0%	62.9%	3
○	海外ビジネス展開支援事業	15	7	46.7%	85.7%	海外展開を具体的に検討する事業所数	5	2	40.0%	2
○	中小企業における高校生採用事業	7	7	100.0%	85.7%	自社への理解促進や人材不足への支援に有意義だったとの事業所割合	80%	84.3%	105.4%	5
○	労働環境啓発セミナー	15	9	60.0%	66.7%	労使トラブル防止に係るスキルが向上した事業所割合	70%	50.0%	71.4%	4
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

*府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調査の記載と合わせてください。

大東商工会議所

事業名		中小企業人材採用セミナー							
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化による労働力減少が深刻な中、新卒・中途採用を成功させるためには、中小企業にとっていかに「求める人材の明確化」「会社の強み」「アピールポイントの見直し」など人材募集方法や面接・選考方法を再度見直す必要がある。そこで、少しでも有能な人材を確保するための採用に係る必要な知識や手法を習得し、今後の雇用環境改善につなげていくことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業の経営者、人事担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和 3年 7月13日(火) 昨今のコロナ禍の中、働く環境の変化や若者の志向・マーケットの変化など人材採用への影響が大きい中、求職者・企業双方の動向分析に加え、大阪の企業事例をもとに「若者・中高年齢者等」多様な人材を採用するための「求人広報」「オンライン選考」など、円滑な人材採用を実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 〈テーマ〉 ①Withコロナ時代の多様な人材採用の最新市場動向 ②インターネットにおける求人情報掲載のポイント ③今、求められている効果的なオンライン活用 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府担当部署担当者とカリキュラム内容について協議を行った。						
		②広域連携							
		③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						
④相談相乗	「労務支援」「販路開拓支援」 カルテ化企業数 6社(カルテ化目標 5社)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	12.5	支援実績率	83.3%	満足率	83.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「人材採用スキルが向上した」「求める人材の具体的な人物像や企業の魅力を整理していきたい」「ホームページでの会社PRや採用ページの活用を考えていきたい」等意見が寄せられ、人材採用や進め方にかかる準備の必要性について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて人材採用スキルが向上したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	66.7%	目標達成度	95.3%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●採用基準を明確にしていく ●求人原稿の中に新型コロナウイルスへの対応を記載する ●オンライン面接を取り入れていく 等、多数の感想が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、人材募集に向けた選ばれる企業の情報発信、企業情報の魅せ方、選考ツールの精査など即戦力となる人材の効果的な採用に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		BCP策定支援事業							
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大規模災害になるといわれる「南海トラフ巨大地震」、地元においては上町・生駒の断層帯の地震、過去に実際発生した水害などの自然の脅威、また昨今では新型コロナウイルス感染症対策が存在する。それらの脅威が実際に起こったときに「被害を最小限に抑え、速やかに事業を継続する」ための準備がBCPであるが、府内中小企業のBCP策定率は1割程度にとどまっており、未だ策定が進んでいない企業は多い状況にある。そこで当事業を通じて、中小・小規模事業者には、BCP策定の必要性を認識してもらい、策定支援につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市域を主とした府内の事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日 時 : 令和3年10月13日(水) 午後1時半～4時半</p> <p>場 所 : 大東商工会議所 及び 後日録画放映(11/1～/30)</p> <p>内 容 : 大東市からの情報提供と専門家によるBCP策定についての概要説明</p> <p>講 師 : ミネルヴァベリタス株式会社 松井 裕一朗 氏</p> <p>○「大東市の自然リスク」について</p> <p>発 表 者 : 大東市危機管理室 各担当者</p> <p>○講師によるBCPの説明等</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	大阪府及び商工会連合会の支援制度を紹介の上、策定支援を実施した。							
	②広域連携								
③市町村連携	災害等の情報事例提供を通じて、地域の自然リスクを理解してもらった。								
④相談相乗	支援企業に対し、「事業継続計画」への支援に繋げていく。								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーは大阪府制作の超簡易版のBCP策定キットを用いての策定方法と大東市の自然リスクの情報提供を主眼において開催した。</p> <p>参加者の声としては、「講師が大東市の地域リスクを把握したうえでわかりやすくリスクの可能性を聞いた」との声を数多く頂戴した。その上で感染症対策のリスク対応の情報提供についても好評を博した。</p>							
	代表指標	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数							
	数値目標	15社	実績数値	10社	目標達成度	66.6%			
	成果の代表事例	本格策定予定の企業が1社あり、改めて地域の自然リスクを把握する・実際作成されている事例を参考にして作成したいとの声を頂戴した。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローする)	普及啓発に主眼を置きながら、感染症対策・地域リスク等の情報提供を加味し、策定を希望する事業所に対しては、大阪府商工会連合会の策定支援事業へのマッチングに対応する等をして、様々な対応が出来るような対策を実施していく。							

大東商工会議所

事業名		中小企業の社長と若年求職者の交流事業							
想定する実施期間		26年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	グローバル化や少子高齢化、そしてコロナ禍など社会の急激な変化は、産業構造の変化や労働市場、就業状況の流動化など、社会や企業に対して大きな変容をもたらしています。そのような中、企業は将来に活路を見出す原動力として有為な人材を切望している一方、就職や将来の進路に不安や悩みを持つ学生が増加しています。ついては大学と中小企業の橋渡しを行うことを目的に本事業を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	積極的に地元学生の育成や雇用を検討している地域中小企業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施時期】 令和3年7月8日・12日に実施(全4コマ) 【具体的な内容】 ①社長講話 テーマは「働くということ」「業界のこと」「仕事の意義」等。自社紹介を行い魅力を伝えた。 ②学生との交流意見交換 社長講話を受け、今度は学生側から質疑応答形式で、講話の内容などに関する意見を述べることで双方向の理解促進、相互交流を図った。 ・OSAKAしごとフィールドの紹介							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	「OSAKAしごとフィールド」の紹介を行った。						
④相談相乗		本事業を通じて、自社の魅力発信意欲や採用意欲を向上させた。カルテ化は4社							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	4.0	総支援企業数(実績)	4.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足度は100に対し「100」であった。特に今回は、学生に事前に質問をいただいていたことから、講話当日は、対面+オンラインの形式であったが、社長と学生のやりとりが大変活発に行われた。その結果、企業サイドの採用意識を醸成することができたと考えている。 また受講された学生のレポート(感想)も提出され、学生参加者数は延べ231名(学生のレポート数より算出しており、実質はもう少し多くなる)であった。							
		代表指標	アンケートにおいて自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%		
	成果の代表事例	社長講話を受けた後の、残りの25分程度は学生のレポート作成にあてられるのだが、その時間も学生との交流、コミュニケーションを行ったケースや、講演の後日に講演者の会社に連絡をとって来てくれた学生がいた事例。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は当事業を再開するにあたり、学生との交流をより活発にするため、学生から事前に質問を募り、講義を実施していただいた。その結果、各社長と学生が例年以上にコミュニケーションを図ることができた。次年度も、社長講話を「働くということ」「業界のこと」「仕事の意義」のテーマでお話いただき、自社紹介を行い魅力を伝えていただきます。そして社長講話を受けての学生との交流、意見交換をより充実したものとするよう取り組んでまいります。							

大東商工会議所

事業名		産大求人求職マッチング事業								
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	文部科学省と厚生労働省の大学就職内定状況調査(国公立24校、私立38校を対象)によると、令和2年度11月1日現在の大学等卒業予定者の就職内定率は 69.8% となっており、やはり前年と比べ苦戦されています。また地域の小規模・中小企業においては人材不足が引き続き深刻化している状況にあります。ついては地元大学(大阪産業大学)の学生の市内企業への就職を促進するため、合同企業説明会を実施いたします。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材確保を検討している小規模・中小企業者と大阪産業大学の学生求職者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和3年11月22日、24日、25日、26日に、当所と大東市主催にて、 「大阪産業大学WEB合同企業説明会」を開催 <企業数> 14社 <学生数> 31名 <主催> 大東商工会議所、大東市 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
	②広域連携									
	③市町村連携	当所と大東市が連携し両社で実施した								
	④相談相乗	本事業を通じて、大学生に対する求人アプローチを図った。カルテ化は6社								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	16.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	87.5%	満足率	25.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足度は100に対し「25」であった。学生(求職者)を「65名」と見込んでいたが、「31名」の結果に終わったことが、この低い満足度となったのかと反省している。 しかしながら一方、今後、このような機会があれば「出展に向け検討」と回答された企業が14社中12社を数えた。 人材採用難が実感される昨今であるが、「Web」合説に出展され、Webでの採用活動が行われたことは、求人の間口を広げる上において役立った機会となったと感じている。								
		代表指標	アンケートで出展されて「自社PRに繋がった」と回答した割合							
		数値目標	70%	実績数値	50.0%	目標達成度	71.4%			
	成果の代表事例	熱心に会社説明を行った結果、1名採用に成功された事例。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	65	目標値(実績)	31	目標達成度	48.0%				
	学生(求職者)の参加が31名となり目標値を達成できなかった。									
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	大阪産業大学の学生(求職者)の参加が31名と非常に少ない結果となった。ついてはこの結果を受け、次年度は当事業の立て直しを図る。具体的には、企業のことが、学生はもちろんキャリアセンターのご担当にも一目でご理解いただけるよう端的にわかりやすく紙1枚にまとめることなどを検討している。またさらに企業サイドのプレゼンテーション力を高めるための支援に力を入れたい。								

大東商工会議所

事業名		商工業支援施策セミナー							
想定する実施期間		3 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	今日、日本経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営環境が急速に悪化し、中小企業・小規模事業者にとりまして極めい厳しい状況が続いています。また、今後長期間での景気低迷が予想されており、コロナ前と同じ消費が戻ってくるとは考えにくく、終わりの見えない闘いが経営者を疲弊させていくのではないかと懸念しています。そこで、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、各種支援施策を理解いただくとともに経営力強化につなげることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、経営力強化に取り組む管内事業所すべてを対象とする							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和3年7月21日(水)・27日(火) 昨今のコロナ禍の中、ポストコロナに対応したビジネス再構築を早期実現するために、自社に適した補助金や支援金を計画的に活用する上で必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 (テーマ) ①各種支援施策の説明(事業再構築補助金、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、月次支援金、雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症特別貸付等) ②事業計画書作成時の3つのポイント ③補助金申請の際のポイント							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。								
④相談相乗	「金融支援」「事業計画作成支援」 カルテ化企業数 12社(カルテ化目標 10社)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「公的支援制度が理解でき、経営力強化に取り組む意識が高まった」「経営理念に基づいた戦略や事業計画を策定していきたい」「自社が置かれている課題の抽出を行っていく」等意見が寄せられ、ポストコロナに向けたビジョン策定の必要性について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて公的支援制度が理解でき、経営力強化に取り組む意識が高まったと回答した割合						
		数値目標	80%	実績数値	71.0%	目標達成度	88.8%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●自社の強み・弱み、経営課題、市場環境などを再度掘り起こしてみる ●新しい取り組みと既存事業とのシナジー効果を検討していく ●競合他社に比べての優位性や差別化を図っていく 等、多数の感想が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、自社の強みを活かした経営力強化に向けた事業計画書の作成に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		DXに関するセミナー																																						
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT/IoTは、情報の収集・蓄積、解析、反映・応用により、産業のあらゆる面において変化をもたらし、あわせてビッグデータやAIの活用により、各産業のビジネスや産業構造そのものを大きく変革すると言われている。更にビジネスだけに留まらず、社会分野等の幅広い分野での活用の可能性も期待され、今後あらゆる産業や分野がIT/IoTに取り込んでいくことが予想される。それにより大きな経済的効果を期待されている。また、コロナ禍における今後の企業の発展にも大きく関わってくると思われる。そこで、IT化がもたらすであろう今後の経済とビジネスの変化について予測し、柔軟に自社に導入する事ができるように、毎年進化しつつある現状を踏まえた上で「自社でDXを推進してみる」事が検討できるようなセミナーを実施する。																																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、今後IT化やDXに関心のある企業を中心に15社を支援する。																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和 4年 1月18日(火)</p> <p>新型コロナウイルス感染症における外出自粛等の影響によって、ビジネスをとりまくデジタル環境も変化しつつあるとはいえ、「何から始めたらいいか、よくわからない」「ビジネスに活用できるの?」等々、疑問点も多いと思われる。税理士にインボイス制度や電子帳簿保存法改正の注意点を教えていただくと同時に、クラウド会計の活用法、はじめてのYouTubeの作成の仕方と業種別活用法 をご紹介させて頂き、様々な疑問にお答えします。</p> <p>〈テーマ〉 ・インボイス制度・電子帳簿保存法の改正・はじめてのYouTubeの作成と活用方法 インボイス制度や電子帳簿保存法の改正点の紹介とクラウドの活用法、YouTubeでの動画作成方法と活用方法 など</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府とカリキュラム内容を協議し、セミナー講師として、ヒロ☆総合会計事務所 代表税理士田淵宏明氏に依頼した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">大東市にチラシの配架による周知を依頼した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">「販路開拓支援」等 カルテ化企業数 7社(カルテ化目標 5社)</td> </tr> </table>							①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容を協議し、セミナー講師として、ヒロ☆総合会計事務所 代表税理士田淵宏明氏に依頼した。							②広域連携								③市町村連携	大東市にチラシの配架による周知を依頼した。							④相談相乗	「販路開拓支援」等 カルテ化企業数 7社(カルテ化目標 5社)						
	①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容を協議し、セミナー講師として、ヒロ☆総合会計事務所 代表税理士田淵宏明氏に依頼した。																																						
②広域連携																																								
③市町村連携	大東市にチラシの配架による周知を依頼した。																																							
④相談相乗	「販路開拓支援」等 カルテ化企業数 7社(カルテ化目標 5社)																																							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	173.3%	満足率	80.8%																															
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「ITを活用しての業務効率化の意欲が高まった」「ITを生産性向上に役立てたい」等意見が寄せられ、ITを活用してもっと生産性や業務効率化を図り、経営戦略に組み込むような取組につながったと感じている。																																						
	成果の代表事例	●業務効率化のために何ができるかを考えてみようと思った ●今よりもっと時短になるためのものを使ってみようと思った 等、多数の感想が寄せられた。																																						
	その他目標値の実績	代表指標	アンケートにおいてITを利用しての生産性向上に関する意欲が高まったと回答した企業割合		数値目標	70%	実績数値	38.0%	目標達成度	54.3%																														
		目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																		
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者のIT関係の取組みの状況を確認しながら経営全般への情報発信を行なっていくと同時に、今後中小企業でもAIの活用方法やIT活用の問題点の抽出や効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。																																						

大東商工会議所

事業名		事業承継セミナー								
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小・小規模事業者の経営者の内、65歳以上の経営者は全体の約4割を占め、今後数年で、多くの中小企業が事業承継のタイミングを迎えるとみられています。また、中小・小規模事業者が今後も事業を継続・発展させていくために、次世代へスムーズに「事業承継」を進めることが求められています。そこで、事業承継への気づきや意識づけ、基本的な知識・考え方を学んでいただくことで、将来事業承継を円滑に実施できる企業が1社でも多く生まれることを目的とする。								
	又援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、将来の事業承継を検討する管内事業所すべてを対象とする								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和3年10月6日(水)	事業承継に向けた準備を早期に始めていただくための重要性や事業承継をめぐる様々な課題への対策、事業承継対策の進め方、事業承継をサポートする体制の紹介、M&Aの事例紹介など、円滑な事業承継を実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 <テーマ> ①1時間でできる事業承継計画の作り方～紙に書けば願いが叶う!?!～ ②小さな会社でも成功するM&A～廃業を考える前に～							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	事業承継支援チーム事務局とカリキュラム内容について協議を行った。							
②広域連携										
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。									
④相談相乗	「販路開拓支援」「事業計画作成支援」 カルテ化企業数 3社(カルテ化目標 5社)									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	50.0%	満足率	71.4%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「事業承継の準備の必要性について意識が高まった」「事業承継の流れや取り組むべき事項が理解できた」「経営状況や課題を見える化していきたい」等意見が寄せられ、事業承継に係る知識習得につながったと感じている。								
	代表指標	アンケートにおいて事業承継の準備の必要性について意識が高まったと回答した割合								
	数値目標	70%	実績数値	57.0%	目標達成度	81.4%				
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●会社・経営者自身の資産等を洗い出していく ●企業理念や経営方針を承継していく ●外部機関が行うセミナー参加を積極的に推進していく 等、多数の感想が寄せられた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業承継に対する周知が乏しかったこともあり、経営者自身の事業承継に向けた準備に必要な認識が不足していた点や今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、事業承継に係る問題点の抽出や効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。								

大東商工会議所

事業名		ビジネス講演会								
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域商工事業者は、デフレや円高からの脱却により景気回復の期待の高まりがあるものの、依然厳しい経営環境にさらされながら業績改善のため付加価値の向上や販路開拓に取り組まれているのが現状である。 そこで、経営戦略や強い組織づくりなどをテーマとした講演会を開催することにより、経営力の向上・組織強化による地域経済の活性化に資することを目的にビジネス講演会を開催する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小・小規模事業者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	第一弾【日時】	令和 3年 7月 9日(金)							
		【場所】	大東市立市民会館 キラリエホール・オンライン(ZOOM)							
		【講師】	中小企業支援家 小出 宗昭 氏							
【テーマ】		「コロナ禍での中小企業の生き残り方」								
	第二弾【日時】	令和 4年 3月 8日(火)								
	【場所】	大東市立市民会館 キラリエホール・オンライン(ZOOM)								
	【講師】	(株)双日総合研究所 吉崎 達彦 氏								
	【テーマ】	「2022年の日本経済展望」								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携									
	②広域連携									
	③市町村連携									
	④相談相乗	「事業計画書作成支援」「労務支援」「金融支援」「販路支援」等 カルテ化企業数 17社 (カルテ化目標 30社)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	100.0	総支援企業数(実績)	51.0	支援実績率	51.0%	満足率	88.2%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の講演会を開催したことにより、「今後の経営改善のために役立った」「日本の可能性やツーリズム、エンタメなどワクワク感が持てました」「予想不能な世間ですが、モヤモヤが多少整理できた」「大阪・関西万博やIRに向けて、情報収集力や変化への対応力の必要性が理解できた」等意見が寄せられ、今後の経営戦略に向けた計画策定や事業展開の幅が広がったと感じている。								
		代表指標	アンケートにおいて今後の経営改善のために役立ったと回答した割合							
		数値目標	70%	実績数値	49.0%	目標達成度	70.0%			
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●事業再構築の必要性が理解でき、今後の経営に対する意識が高まった ●ウイズコロナに伴う戦略や事業計画策定の重要性が深められた ●コロナで先行き不透明なだけにどのように動かなければならないか深く考えていく必要がある等、多数の感想が寄せられた。 								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や今後の事業展開への知識習得については、一定の成果が上げられたと感じている。しかし、事業者にとって多忙な時期に開催したことにより、小規模事業者の参加が低調であった。(金融機関の参加者が多かった) また、アンケートの回収に関しては回収できていない事業所もあり、今後の事業開催時には積極的な回収が必要と考えている。 引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、課題解決に向けた支援が必要と考えている。 (講演会参加企業数 57社(内、金融機関6行) 85名、アンケート回収数 81名)								

大東商工会議所

事業名		ものづくり教育道場							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>大東市は、大阪東部のものづくり集積地の一翼を担い、はん用機械器具・金属製品・生産用機械器具・非鉄金属など多様な業種で構成されている製造業が基幹産業である。他方、全体として優れた技術力、小ロット、短納期などに対応しているものの、最終製品を製造している事業者が少なく、市場での認知度が低く、経営基盤は総じて脆弱である。また、後継者不足や雇用面での人材不足なども大きな課題となっている。</p> <p>こうした中、管内基幹産業の生産性向上を図る目的で、産学官連携体制による製造業を対象とした人材育成事業「ものづくり教育道場」を展開し、結果として域外経済の流入を増加させ地域経済の活性化に貢献する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	生産性向上が必要な管内ものづくり企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和3年6月29日(火) 13時30分～16時30分 【会場】大東市立市民会館 4階 大会議室 【講師】大阪産業大学 工学部 機械工学科 榎真一 氏 【内容】ものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を学ぶ。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
③市町村連携	大東市との連携で「ものづくり教育道場」をメディア等へ広報頂く。								
④相談相乗	本事業を契機として、参加事業所の人材育成計画作成支援やIT支援といった面におけるプラスの相乗効果も期待ができる。カルテ化は参加事業所の50%以上を目標とする。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	60.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーは、ものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を学び、ビジネスで必要とされるのは「論理的な文章」である。セミナーでは、大阪産業大学機械工学科の「テクニカルコミュニケーション」という授業を一部アレンジし、「論理的な文章」を学ぶほか、「説明責任」「営業秘密」などの技術者倫理を学んで頂いた。</p>							
	代表指標	参加事業者のうち、業務へ実践できるとの回答割合							
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	<p>「ノウハウや技術に関しての考え方や、文章の構成についてポイントを押さえる事で業務資料をより良く向上させていきたいと思います。」「報告を受ける場合とする場合の両方ある立場であるが、する場合のポイントを実施し、部下にも指導していきたい。」等の意見が寄せられた。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)			目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	6月20日まで緊急事態宣言発令中であり、セミナーの当日もまん延防止等重点措置適用の中での開催となり、なかなか参加者が集まらなかった。オンライン併用での開催も検討したが、課題や交流があるためリアルのみでの開催となってしまった。							

大東商工会議所

事業名		SDGs マッチング事業							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	SDGs を学ぶ段階から行動へ移す段階へと展開を図っていきたい。おのおのの事業者が未来を待つのではなく、未来を創り出すストーリーを描いていただければと考える。社会全体の課題の中から、自社が解決できるかもしれない、または解決したい社会課題を見出していき、それをニーズとして自社で提供できるものは何かということをはっきりと、創り出していただくことが当事業の目的である。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小および零細事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和4年1月25日、28日に実施。25日は17名、28日は12名が参加。25日の内容はSDGs の成り立ちと全体像の把握、また自社が解決できそうな社会課題を見つけていくワーク。28日は、社会的価値と経済的価値の融和を学び、そして各社より自社のできることにあつての発表が行われた。							
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	おおさか社会課題解決ファンドを紹介して下さった。またセミナーに参加。						
③市町村連携		市役所窓口で当セミナーをPR。またセミナーに参加。							
④相談事業相乗	本事業を通じて、SDGs をツールとして自社でできる社会課題の解決を見つけていくことを推進。カルテ化は11社。								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	64.0%	満足率	60.0%	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	25日において、SDGs をツールとし、何か自社でできる社会課題の解決への取り組みを見出していくことを提案。具体的には、 ①環境省のSDGs との紐付け早見表を加工し、自社の取り組みを記入しやすくした表を作成し提供 ②SDGs 取り組みへの2つの視点、すなわち「正の影響の強化」「負の影響の最小化」より、自社が解決できそうな社会課題を発見していくことを提案。 以下のワークシート表の提供 ・自社が行う社会課題解決アプローチ ～負の影響の最小化バージョン～ ・自社が行う社会課題解決アプローチ ～正の影響の強化バージョン～ その結果、28日において、各社はそれぞれ社会課題に対するアプローチを検討され、プレゼンを実施いただけた。それぞれが現在、行っておられるSDGs に係る活動を紐付けされ、今後の取り組みについて明確にされた。 (事業所の事例発表) ・環境負荷軽減の取り組み推進 ・地域への貢献推進 ・従業員への働き甲斐向上の推進 など							
	代表指標	SDGs から検討した社会課題のビジネス化を検討したいと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	40.0%	目標達成度	57.1%			
	成果の代表事例	自社製品として、魚の食べたものと水草、巻貝で循環させる「水槽」の製作の企画。またアウトドアにおいて、耳の不自由な方が活躍できる場の企画などをプレゼンして下さった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)			目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	数値目標の達成率が64%であった。これは当セミナーの実施時の環境がオミクロン株の爆発的増加の時期と重なってしまい、ご参加への誘いが難しかったり、参加を見合された事業所もあった。 次年度においては、本年度実施した当セミナーを礎に、各社において社会課題解決を盛り込んだSDGs 経営計画の作成にチャレンジしたいと考えている。その際、その社会課題の解決・進捗を定量的に測れるように数値化したKPIの設定にもチャレンジしたいと考えている。							

大東商工会議所

事業名		大東まちゼミ							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商業統計調査によると、大東市の小売業の事業所数は2002年の1,002件から2016年には538件へと5割近く減少している。このような状況の中、各個店の店主が商品知識やノウハウを提供することで新規顧客との出会いの場をつくり、各商店とお客様との交流を通し、各商店主へのファンづくりを展開する本事業「大東まちゼミ」の更なる推進により新規顧客獲得の可能性拡大につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市内の小売業・サービス業を中心に、自らの商品知識やノウハウの情報発信が可能な事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	地域のお店の方が講師となって、プロならではのコツや専門知識から趣味の話までノウハウ等を無料で受講者(顧客)に伝えるコミュニケーション事業「大東まちゼミ」を開催。 大東市報に案内パンフレットを同封するとともに、受講者に対してまちゼミ限定クーポンを配布することにより受講促進・販促創出等相乗効果を図った。 【開催期間】 令和3年10月16日(土)～11月14日(日)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	案内パンフレットを大東市報に同封し、約5万世帯に周知								
④相談相乗	「販路開拓支援」「事業計画作成支援」カルテ化企業数 7社(カルテ化目標 参加事業所の25%以上)								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	70.0%	満足率	68.6%	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の大東まちゼミ事業を開催したことにより、各社がこだわりの逸品の開発や付加価値を付けたサービスの創造ができたと感じている。また、自店の強みやセールスポイントの見直しをしたことにより、自店の効果的なアピール・新規顧客の獲得に向けた取り組みにつながったと感じている。							
	代表指標	来店客数が増加した参加事業者の割合							
	数値目標	80%	実績数値	89.0%	目標達成度	111.3%			
成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●新規の顧客が獲得できた ●費用対効果につながった ●モバイル端末の営業ツールへの活用が増した 等 多数意見が寄せられた								
その他目標値の実績	目標値(計画)	25	目標値(実績)	22	目標達成度	88.0%			
	令和3年7月13日に「元気な地域を取りもどす!コロナに負けないまちゼミセミナー」を開催								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や新規顧客の獲得数については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、販路開拓の支援を行なっていくとともに、顧客満足度向上の手法やマーケティング戦略等の支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		クラウドファンディング活用セミナー																																							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	クラウドファンディングは資金調達だけでなく、テストマーケティングやプロモーションの効果もあり、成長している一つの市場です。 BtoB のものづくり企業も自社のリソースや技術を活用し、ブランド発信手法にクラウドファンディングを導入しています。 クラウドファンディングの制度内容や過去に大東市内の事業所でのプロジェクト成功例を中心に解説して「新たな資金調達・マーケティング・販路開拓方法」を知っていただき、現事業を活性化することを目的に開催する。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市内を中心に業種を問わず、すべての事業者を対象とする。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和 4年 2月 9日(水)</p> <p>講師自ら皮革小物製造を立ち上げるとともに、多数のクラウドファンディングをプロデュースした実体験の紹介や活用するメリット・注意点など事業主の視点から紹介することで、新製品のプロモーション・テストマーケティングにつながるように実践的なセミナーを実施</p> <p>〈テーマ〉 ①クラウドファンディングとは? ②産学連携とクラウドファンディング ③クラウドファンディングを活用したプロジェクト成功事例 ④グループワーク ⑤質疑応答</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府の担当者とカリキュラム内容の協議を図った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談事業相乗</td> <td colspan="7">「販路開拓支援」「マーケティング力向上支援」カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 8社)</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府の担当者とカリキュラム内容の協議を図った。							②広域連携								③市町村連携								④相談事業相乗	「販路開拓支援」「マーケティング力向上支援」カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 8社)						
	①府施策連携	大阪府の担当者とカリキュラム内容の協議を図った。																																							
	②広域連携																																								
③市町村連携																																									
④相談事業相乗	「販路開拓支援」「マーケティング力向上支援」カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 8社)																																								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	8.5	支援実績率	56.7%	満足率	100.0%																																	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーを開催したことにより、「クラウドファンディングの導入を検討していく」「クラウドファンディングの内容に対する理解が深まった」「クラウドファンディングの実体験の話が参考になった」等意見が寄せられ、事業所の販路開拓へのPR活動の最大化・社会と価値共創への取組みにつながったと感じている。</p> <table border="1"> <tr> <td>代表指標</td> <td colspan="7">クラウドファンディングによる効果的な経営手法を学び、導入を検討している企業割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>50.0%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">71.4%</td> </tr> </table>								代表指標	クラウドファンディングによる効果的な経営手法を学び、導入を検討している企業割合							数値目標	70%	実績数値	50.0%	目標達成度	71.4%																		
代表指標	クラウドファンディングによる効果的な経営手法を学び、導入を検討している企業割合																																								
数値目標	70%	実績数値	50.0%	目標達成度	71.4%																																				
成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●新事業の立ち上げの参考になった ●今後の商品開発や事業展開の参考になった ●クラウドファンディングの活用と新しいアイデアや気づきになった <p>等、多数の感想が寄せられた。</p>																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、魅力的な商品力・効果的な見せ方・視覚化など効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。																																							

大東商工会議所

事業名		海外ビジネス展開支援事業								
想定する実施期間		2年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化に伴う人口減少に比例し、国内での消費量も益々減少して今後は日本の経済規模も小さくなると予想。しかし、世界事項は増加傾向にあり、日本の市場縮小が進む一方、世界全体で見れば海外では更なる市場規模の拡大が見込まれる。海外市場をターゲットにすることにより、大きなビジネスチャンスを開く可能性も高まるため、その情報提供としてセミナー等を開催する。 大東市内の企業は「技術力が高い製品」を持つ企業が多く存在するが、海外ビジネスのノウハウに乏しい企業が多く、海外に発信・展開するノウハウを身につけてもらう事を目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	海外展開を検討しているものの、自社では有効・的確な情報やネットワーク、具体的な進出方法に向けたノウハウを有していない中小や小規模事業者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和4年3月29日(火) 国際戦略を含む海外取引や進出事例等の紹介、海外展開におけるビジネスチャンス、リスク、マーケットリサーチ及び計画の進め方など、円滑な海外展開を実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 (テーマ) ①海外子会社の運営に潜むリスク ②日本企業はなぜ海外で「騙される」のか? ③ウイズコロナ、アフターコロナの海外ビジネス戦略								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府や大阪産業局の関係部署とカリキュラム内容について協議を行うとともに国際ビジネスサポート施策の情報提供を行った							
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗	「販路開拓支援」「労務支援」 カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 5社)									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	46.7%	満足率	85.7%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「海外展開を具体的に検討していく」「今後の事業展開のヒントが得られた」「良い商材を広く展開していきたい」等意見が寄せられ、海外展開に係る知識習得につながったと感じている。								
		代表指標	海外展開を具体的に検討する企業数							
		数値目標	5社	実績数値	2社	目標達成度	40.0%			
	成果の代表事例	●今後、海外メーカーとのビジネスを考えている ●中国やアジアに展開する際の情報収集が得られた ●海外ビジネスの事例が参考になった 等、多数の感想が寄せられた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	海外ビジネス展開に対する周知が乏しかった点や今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、海外展開に係る問題点の抽出や関係機関と連携を図り効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。								

大東商工会議所

事業名		中小企業における高校生採用事業							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	従業員300人未満の企業の求人倍率は、3.40倍と前年から大きく低下したものの、依然高止まりの状況で、中小企業にとって人材確保は依然として大きな課題となっている。こうした中、高校生の採用を強く求めている地域の中小企業に対し、これからの地域、ひいては大阪を担う高校生が中小企業等の魅力に触れる機会をより多く創出することが重要となってくる。 そこで、大阪府立城東工科高等学校の学生に対し、製造業を営む中小企業の魅力に触れる機会を創出するべく本事業を展開する。本事業を展開することにより、地域の中小企業と城東工科高等学校生間の橋渡しを行い、人材不足に深刻な課題を抱えている製造業を営む中小企業に人材面の支援を行うことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材不足の課題を抱えている製造業の事業所全てを対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	◇実施体制：大阪産業大学、大東市、大東商工会議所の3者連携にて実施。具体的には、城東工科高等学校が学生を派遣、市は広報、当所は受入企業の募集や事業運営全般を担当することで互いに協力し合った。 ○実施時期：2021年12月6日(月)から12月10日(金) (※各社とも3時間×2日) ○実施場所：参加企業 7社 ○実施内容 ・城東工科高等学校の学生がグループとなり各社を訪問 ・経営者による企業概要説明等⇒社内見学⇒職場体験や社員とのヒアリングを実施 ・2022年2月2日(水)学生による活動報告会の準備を進めていたが、感染症の影響で開催できず報告は各社への個別報告となった ・参加企業からもアンケートにて本事業に対する評価等をいただいた							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府 雇用推進室 就業促進課と打合せを行った。						
		②広域連携							
③市町村連携	大東市との連携で、本取り組みを市報等で広報いただいた。								
④相談相乗	本事業を通じて、参加事業所の事業計画作成支援や販路支援といった面におけるプラスの相乗効果が認められた。カルテ化は6社、85%(目標50%)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	7.0	総支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	100.0%	満足率	85.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足度は85.7%であった。 城東工科高等学校で学ぶ学生の企業訪問を受け、職場体験等を経験してもらうことで、参加企業の魅力増進や理解促進につながるだけでなく、人材不足に深刻な課題を抱えている製造業を営む中小企業にとって人材支援のきっかけづくりを助成する事業となった。							
		代表指標	自社への理解促進や人材不足への支援に有意義だったとの回答割合						
		数値目標	80%	実績数値	84.3%	目標達成度	105.4%		
	成果の代表事例	「この度の機会により、城東工科高等学校の生徒に対し、改めて弊社への雇用PRを強化していきたいと感じた」「今回のような職場体験は、自社の雇用施策として大変重要な機会創出の施策と考えておりますので、今後も継続的に実施していただきたい」などの回答を頂戴した。 その他「学生と交流させていただくことにより、若手社員のプレゼンテーション力の向上や後輩育成力の向上、モチベーション高揚にもつながったと思います」といった感想もいただいた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	感染症の影響により、8月・9月と2度の延期を経て、何とか12月に開催することができた。一方、各社への訪問も長時間(6時間×2日)で計画していたが(3時間×2日)での実施となり、活動報告会も全社大人数が集合しての開催は叶わず各社への個別報告となった。 コロナ禍の収束時期は見えないが、オンラインの活用などの工夫により、今後は効率的に橋渡しの役割を果たしたい。							

大東商工会議所

事業名		労働環境啓発セミナー							
想定する実施期間		3 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現在、働き方も正規・非正規雇用など雇用形態が多様化していることに加え、毎年のように労働関係法の改正が行われています。また、労働者の労働コンプライアンス意識の向上や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い働きやすい労働環境の整備が求められており、企業として正しい認識を持ち適正な運用ができなければ、労使間のトラブルに発展する可能性が高くなります。 そこで本事業を通じて、労働関係法について正しい知識を習得し、労働者にとっても働きやすい職場環境を構築することにより人手不足の解消や労使トラブルの防止、労働者のモチベーション向上にもつなげ経営の安定を図ることを目的に開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業の経営者、人事・労務担当者など							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和 4 年 1 月 2 1 日(金)</p> <p>労働法の基本内容について正しい知識を習得していただくために、労働相談の実態や労働規定の整備の重要性、労使トラブルの対処法、労働契約条件・処遇の事例などの紹介を行うことにより、これらを通して社員がイキイキと活躍する会社づくりにつながるように実践的なセミナーを実施</p> <p>〈テーマ〉</p> <p>【最近の労使トラブルの傾向 実例を学ぶ】</p> <p>採用時、解雇、退職勧奨、未払い賃金、長時間労働、試用期間的な有期雇用 など</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容を協議し、メルマガへの掲載依頼を行った。また、セミナー講師として、大阪府労働環境課の労働相談員に依頼した。						
		③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。						
	④相談相乗	「労務支援」「販路開拓支援」等 カルテ化企業数 3社(カルテ化目標 5社)							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	60.0%	満足率	66.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「労使トラブル防止に係るスキルが向上した」「人材定着に向けて職場の雰囲気や勤務条件などを整理していきたい」等意見が寄せられ、従業員に永く働いてもらうための取組みにつながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて労使トラブル防止に係るスキルが向上したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	55.0%	目標達成度	78.6%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ●社員間のコミュニケーションをとるようにしていく ●社内外でハラスメント防止研修を推進していく ●本人の希望や意向を定期的に確認するようにしていく <p>等、多数の感想が寄せられた。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、労働法の遵守、大阪府労働相談センターの紹介、労使トラブルに係る問題点の抽出や効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。							